艶がり村
［つやがりむら］
参
レイドソックス
トリッキー

前回までのあらすじ

快楽の横行する村に捕まったアヤミとナオト

ナオトは牢に捕えられアヤミは村の教祖と快楽を共有する淫紋を刻まれてしまう

あ…アヤミ…

身を挺してナオトの居場所を聞き出したが徐々に身体は教祖専用に染まりつつあった

…!!
フラ…
…ハァ
フラ
っ…ついた……
きっとここだ……
村で一番高い塔……
ジクッ
教祖に中出しされてすでに一時間は経ってるのに……
ジュン
ニチョ
まだあそこにちんちん入ってるみたいに快感が引かない…

この淫紋の呪いはヤバすぎる・・・
早くナオトを連れてこの村を脱出しないと！
ぴら
ギィィ
ゴクッ・・・
タッ
タッ
タッ
タッ
あの教祖と信者共もエッチ後どっかに行ったみたいだけど・・・
私を野放しにしたことを後悔させてやる・・・

パン
パン
パン
パン
ズン
ズン
!
パン
ダダ
ダダ
!!
ああぁ
はぁ

ダダダ
な…何なのよ
この村は…っ
どいつもこいつも
狂ってる…！
お願いナオト
無事でいて！
間違っても
男なんかに
襲われちゃ
ダメだからね！

ビタッ
!
え・・・・ナ・・・オト・・・？
あ・・・・え？
アセ
うっそ・・ア・・・ヤミ？
アセ
な・・なんだ良かった！
き・・来てくれたんだアヤミ！
ギシ

手伝おっか？
そ…それどころじゃないんだよアヤミ！
これを見て！ここにある本！
ほとんどが手書きなんだよ！
この村の過去の出来事や・・・
女性を手ゴマにする方法、洗脳心理・・・
他にも女性の妊娠について何が効果的かなど事細かく綴ってある
こんなイカれたものを書いた人物は・・・・
そしてこれだけ書き溜めたことから分かるのは・・・・・・
・・・・
あのエロ教祖がこの牢にいた？
恐らくね

詳細は不明だけど当時奴はこの村の危険人物として牢に入れられた
しかも10年間も
けど何者かが最近になってあのジジイをここから出したんだ
ズ…
奴はなぜか孕ませることに執着しているらしい……
!
アヤミを執拗に狙うのもそれが目的なんだよ……きっと
ギッ
ドッ
やっ…そ…そんなハズないよ!
え?どういうこと…?
だってあいつは孕ませられない体質なんだもん!

自分で言ってたの・・・
孕ませられない代わりに中出しすると快感を共・・
!
キュッ
・・・・
?
・・・か・・・
快感を?
・・・・
だ・・ダメだ言えない!
あいつと私が快感を共有しているなんて!
そんなことナオトが知ればドン引きされちゃう!

と・・
とにかく！あいつには不思議な力があって・・
その力の代償に孕ませられないってこと・・・！
なっ・・何だよそれ・・・？
何で誤魔化すんだよ？
まっまさかアヤミまであのジジイを好きになったんじゃ・・
！
なっ・・
そ・・そんなわけないでしょ⁉
だ・・だって無線機に向かって大声でおねだりしてたし・・・
そっ・・それはナオトの居場所を聞き出すためにやったんじゃん！
疑うなんてヒドいよ！
・・・
なっ・・・な・・・
カァァァ

ふぉふぉ
全くのぅ
すっかり険悪ムードではないか
シコ
シコ
シコ
シコ
シコ

ア…アヤミ!?
?
ガクッ
ジュワアアア
ミチ
アアアア
…
ニチュ
ブル
ニチ
ブル

懐かしいのぅ
ここにいた頃
毎日配給に来る
少女を鉄格子越しに
まぐわって手なず
けたもんじゃ
欲しいものは
その娘に持って
来させた
我をここに閉じ
込めた人間共に
報いを受けさせる
方法に没頭するのが
楽しくてのう
故にここから
出たいとも
思わなかった
そして今や配給の
娘も我の味方と
なり・・この牢の
看守というわけよ
!

…え？
？
恋人を牢から出したかろう？ならば・・
・・・・
そこの看守の鍵で開けてもらうしかない
そこで再びチャンスを与えよう！
今ここでアヤミとまぐわりイカせられれば開けてやろう
ドキッ
！
なっ・・

かつて我が牢屋越しにまぐわったように
パチン
大丈夫
ゴムをつければ包茎でも挿れられる安心しなさい
ピロ
アヤミ・・やろう！
ギュッ
バシッ
今度こそ・・・2人で！

ジワ…
ニィ
う…うん
…分かった
ニヤ
ニヤ
グッ
ドキ
ドキ
……

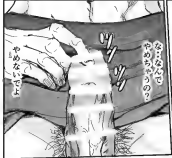
じゃあ・・
い・・挿れるよ？
おらぁ！
パチュ
！
はっ
はっ
ガシャ
あぁ
おああ
ガシャ
あああぁ

あぁアヤミ・・・アヤミィ・・入ってるよ?
大丈夫?痛くない?
ドキ
ドキ
ニュチ
・・?
う・・・うん大丈夫
痛くないよ?

全ッ然気持ち
よくない！
そ…そんな
何で…？
やっと…
やっとナオトと
繋がれたのに
鉄格子のせいなの？
届いて欲しいとこ
まで来てくれない
ギュッ
ギュ
ニチ
これじゃ
ないの！

シコ
シコ
シコ
シコ
シコ
ビクッ
!?
ジワァァ
クチュ
ジュン
はあぁあ
ああぁあ❤

あっ
いいん
あぁあ
ァー
ハァ
き・・気持ち・・いいん
ガタ
ピタ…
!
ガシャ
ハァ
…あ…
!!
……
ガシャ

そ…そんな……
ウズ
ウズ
このままイケそうだと思ったのに……
な…なんでやめちゃうの？
やめないでよ
ツツツツ
ムズ
ムズ
!
ね…ねぇ…シコって

も・・もう少しなんだから・・
グチュ
お・・お願い
お願いだから早くシコって
ヌチュ
ズッ
おやおや
なんで我におねだりするんじゃ？
まぐわってる相手は我ではないぞ？
パン
パン
・・・・
早く恋人にイカせてもらえばいいじゃろう？
・・・・
ア・・アヤミ・・？
・・・・
な・・何のことだ？

イラ
イラ
ねぇ…もっと
…もっと奥まで…
こ…このままじゃ
ダメ…イケない…
カァァ
しっ仕方ない
だろ!?
格子のせいで
根本まで挿れ
られないんだ!
これでも必死に
やってるんだよ!
プフッ
やれやれ…
見るに耐えんな
ギ…

そこで見ておれ
あっ
アヤミがイクところを
グイ
あ
あ・・
や・・
やめろ
やめろ・・

ヴヴ
ブル
ブル
ブル
ブル
ジワァァ
ズルルル
ニュルルル
ジワ
ジワ
ジワ
あ
ジワ
あぁ
あぁ
ジワ
おやおや
驚いた
挿れただけで
イッておるわ
ギシャ
ググッ

なぜこうも
違うのか・・
知りたいか?
半端者
なぜ我との
まぐわりだけ
異常に感じる
のか・・?
や・・やめてぇー!
?
共有して
おるのよ
我の快感を
アヤミの
身体に

え？
きょ・・・
共・・有？
我に中出しされた時から4日間
このイチモツへの刺激は子宮へと伝わっていく
ゾワァ
ゾワァ
今も村のあちこちで中出しした娘共に我の快感が伝達されとる
その状態でまぐわれば・・ククク　おかしくもなろうて
この力こそ教祖と呼ばれる所以よ！

あっ
ズッチュ
ズリュ
ヂュうんんっ
ヂュ
グチュ
ジュ―――――ッ!!
すぐ…すぐ
イッちゃ…う
お…おかしいよぅ
私の…カラダ…
……
ブル
ブル
ズブ
あはぁ…ぁぁ
ナ…ナオトに
見られ…てる
ジュ

ねぇ…君
なんで勃ってるの？
ギュ
知ってるのよ？
彼女を目の前で
寝取られて興奮
してるんでしょ？
昨日だって
そうよね？
…
寝る前に…
3回もオナニー
…したでしょ？
シュ
シコ

……え？
教祖様とアヤミちゃんの濃厚エッチを思い出しながら…
目醒めちゃったんだよね？寝盗られエッチに
モゾ
モゾ
モゾ
…！
ばっ…
そ…そんなわけないだろ！
ナオトが…
私を…おかずに…？
いいなぁアヤミちゃん彼氏にめっちゃ必要とされてんじゃん
フフフ
…
彼の嫉妬オーラが尋常じゃないのがいい証拠よ？

アヤミは甘え下手じゃからのう？
本当はどれだけ自分が愛されてるのか知りたいんじゃろう？
ホレ
のう？

もっと見てぇ
ーナオトー

スゴいんだよ？
ナオトが届かな
かった所まで

リァ

ズブブ

私の赤ちゃん
部屋まで・・・

ヌチ

余裕で生チンポ
届くのぉー

ニタァァ

アヤミよ
この際ハッキリ
言ってあげては
どうだ？

あん

教祖である我と
どちらのチンポが
気持ち良かった
のか

……
きょ……
教祖様
ガクゥ
教祖様のオチンポの
方が気持ち良かった
ですぅー！
ナオトの何倍も
何倍も…私…
教祖様と一緒に
ビクビク感じ
ちゃうのぉー！
ビュル
！
ドプ
ドプッ
ビュッ

あらあら‥
大してイジってもいないのに‥
クス
ペロ
ハァァ
ハァァ
アヤミよ
半端者が
喜んでおるぞ？
アッ！
ヴァァアン
ゾク
ゾク
もっともっと
奴を嫉妬させなさい
ズズ
グチュ

は・・はい
・・教祖様
!?
ビクッ
ビクッ
ガバァァァ
ねぇ見てぇ
ナオト・・・
教祖様と私が
繋がっている
ところを・・
ドクッ

ビクビク
あぁ・・せ・・せーえき出そう・・女なのに・・・私・・・・
わ・・分かっちゃう・・私の中に出しちゃうよ?ナオトぉー
プチ
ジュル
ズヌ
ズブ
ドクン
ズビュ
ビュ
ア・・・ア・・来る・・・来る来ちゃう・・・

さぁ出すぞ？
ブル
ブル
ブロ
どこに出して欲しいか言ってやれ
恋人の目の前で
ガク
ガク
ガク
ギュ
あ…あぁ
…
ナ…ナカぁ
なか…ナカ…ナカぁ！ナカに出して！
ドク
ブル
ブル
私のオマンコを教祖様専用にして下さい！
ブル
ツー

…
ビク
ドクン
ビク

ビュルルル
ビクン
ぎゅうう
ビク
ご覧の通りだ
半端者よ
挿れられてる
快感と挿れてる
快感・・・
同時に味わえる
身体になった
のじゃよ・・
アヤミは
ピチャ

シコ
シコ
フフフ
……
!
ペロ
チュ
レロ
レロ

カシャン
ねぁぁぁ
ニュルルル
!

ドゴッ
なっ
!
ガシャ
立てるか?アヤミ
ビクッ
え・・あ
ガバッ
ひぁ?
ブビュ

逃がさないわよ包茎君?
・・・
君には特別な牢に入ってもらいたいの
私の父と一緒に・・ね!
END

あとがき

この度は艶がり村第3話をご購入いただき誠にありがとう
ございます！毎回描きこみ量が増えていっているような
気がする今日この頃です。納得いくまで仕上げないと気が
済まない性分で、今回も全力で描きまくりました笑

どこまで物語を描くかも凄く悩んだりしましたが、
私は妥協しないで描くべきものを最後まで描こうと
思っています。だって編集さんがいるわけでもないので、
打ち切りになるわけでもない、気兼ねなく進めていい。
それが個人で描いていることの醍醐味でもあると
思います。だからこれからも走り続けるのでよかったら応援
していただけたら嬉しいです。

SNSもやってますので、フォローいただけますとありがたい
です。ではではー♪

ーナオト

Twitter
https://twitter.com/nao3675

FANBOX
https://loosesox-love.fanbox.cc/